

年間テーマ	四季を通じて身近な自然に触れ、様々な遊びにつなげていく
探求テーマ	砂と水

子どもの姿	<ul style="list-style-type: none"> ・以前にも裸足で砂遊びをし、子ども達が夢中で楽しんでいました。 ・大好きな砂遊びに水を入れることで子ども達がどのような遊びにつなげていくか見てみたい。
「問い」を考える	<ul style="list-style-type: none"> ・砂と水を使って子ども達がどのように遊ぶのか
活動をデザインする	<ul style="list-style-type: none"> ・砂、水に触れて遊ぶことを喜ぶ。 ・夏ならではの遊びを通して一つひとつの感触を知る。 ・友だちのやっている遊びを見て真似をしようとする。そこから遊びの楽しさを見つけ、繰り返し楽しんだり、声やことばを発して自分の思いを伝えようとする。
環境をデザインする	<ul style="list-style-type: none"> ・砂場を使う ・水をはったたらい、砂場の玩具(シャベル、カップ、バケツなど)を用意する ・砂、泥が顔や口についてしまった時はすぐにふき取り、遊びが中断しないよう見守っていきようにする。
小グループを構成する	<ul style="list-style-type: none"> ・友だちがやっていることに興味を持ち、「やってみたい」という気持ちを持てるようにする。
振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・砂、水、玩具を置いてどのように遊ぶかを見た中で子ども達からの発見、つぶやきというのがとてもよく分かった。次回は自然物にふれての子ども達の気づきを見ていきたいと思う。

2024年

8月

23日(金)

子どもの言葉・姿	写真
<ul style="list-style-type: none"> ・砂場に水を入れたたらいを用意する。 ・たらいの中をのぞきこみ、水が入っているのが分かると両手で砂をつかんで入れる。 ・「おにぎりぎゅーして」と言う。 ・丸めた砂を水のたらいに投げ入れる。 ・ちゃぽんという音に喜び、繰り返し砂を入れて楽しんでた。 ・「せんせいもお団子作って」 ・投げ入れずにそっと入れたり、手に乗せて沈めたりする。 ・「ぎゅっぎゅっ」と言い、砂を丸める。 ・友だちにお団子の作り方を見せていた。 ・大きな砂のかたまりを見つける。 ・持とうとするが、崩れてしまう。 ・「こっちにもあった」 ・また持ち上げようとする。 ・小さなかたまりを持ち、水のたらいの中に入れる。 ・「おなべ、かきまぜて」 ・たらいの中に手を入れてぐるぐるとかき混ぜる。 	  